昭和五十四年度 水田利用再編対策の方針

本年の配分については県からの配分があり次第、早急に決定する方針でありますが、ほぼ昨年並みと思われます。

近日中に仮配分をいたしますが、受委託等により割当変更される場合は、後日配布する申出書に必要事項を記入・押印の上、農家組合長さんへ提出して下さい。

又、水田利用再編計画については集団定着化を図るため、苗代地周辺に転作される様、お願いします。

転作圃場条件整備や機械施設の導入についての申込も早目にお願いします。

演劇サークル〝あぜみち〟で会員を募っています

みなさんは〝あぜみち〟という名前を聞いたことがありますか、おそらくないことでしょう。

〝あぜみち〟とは、村の青年たちでつくっている演劇サークルの名前です。

昨年の秋、弥彦村で行われた郡の芸能祭では、みごと最優秀賞に選ばれ、今年の夏の県大会をめざし特訓中です。

演劇を通して仲間づくりも広げています。

この演劇サークル〝あぜみち〟では新しい仲間をもとめています。やってみたいと思う方は、公民館まで連絡ください。

昭和54年度 航空防除実施の概要

ベリコプター基地で農薬注入作業――昨年の一コマ

広域一斉防除でより大きな防除効果をあげるため，53年度より，岩室村でも航空防除を実施しました。去る2月16日農家組合長会議に於て満場一致で，54年度も引続き航空防除を実施することになりました。

実施計画案は下表のとおりとなりますので，皆様方のご協力をお願い致します。

昭和54年度　岩室村航空防除実施計画

	実施面積	対象病害虫	薬剤名	使用量	缶当り金額	金額	10アール当り金額	散布料 10アール当り金額	10アール当り管理費	10アール当り防除経費
	ha			ℓ		円	円	円	円	円
第1回目 6月18・19	1,250	ニカメイ虫一世代	スミチオン	1,375	(18ℓ) 45,040 (2,503)	3,441,625	276	400	110	786
第2回目 7月7・8	1,250	葉イモチ病	ラブサイドゾル	1,375	(20ℓ) 33,660 (1,680)	2,310,000	452	400	110	962
		紋枯病	バリダシン		(20ℓ) 48,550 (2,428)	3,338,500				
第3回目 7月24・25	1,250	紋枯病	バリダシン	1,375	(20ℓ) 48,550 (2,428)	3,338,500	492	400	110	1,002
		穂イモチ病	カスラブサイドゾル		(20ℓ) 40,780 (2,039)	2,803,625				
第4回目 8月5・6	1,250	ニカメイ虫二世代	スミチオン	1,375	(18ℓ) 45,040 (2,503)	3,441,625	500	400	110	1,010
		穂イモチ病	カスラブサイドゾル		(20ℓ) 40,780 (2,039)	2,803,625				
合計	5,000					21,477,500	1,720	1,600	440	3,760

河川を大切に やめて！ゴミの不法投棄や不法耕作

川のほとりから始まった私たちの生活は、みんなの財産として、毎日の暮しに一日もかかすことのできない多くの恵みを与えてくれています。

郡内を流れる中之口川や西川も昔は、飲料水、農業用水はもちろん、人々の交通や運搬についても大切な通路として役立っていました。しかし、工業化と社会生活の進展につれ、水の需用量の増大に反比例するかのように川を大切にしようという意識がうすらいでしまっています。

――川を守る――言葉でいえば簡単ですが実際にやるとなると長い年月と莫大な費用、そして地域住民みんなの協力があってこそはじめて実現できるものなのです。

西川の堤防を歩いてみるとゴミの不法投棄や、不法耕作がやたら目にとまります。

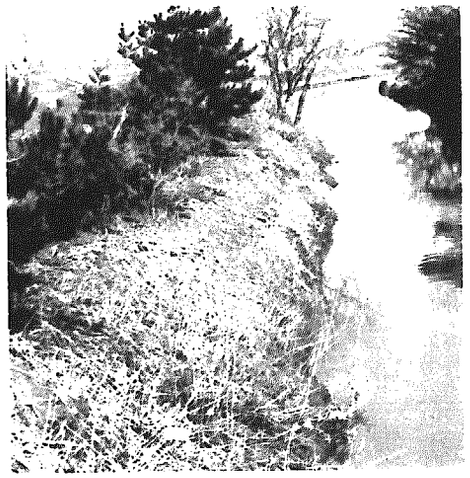
これらの不法行為が行われている場所は、災害復旧工事や、河川環境整備事業の対象からはずされることになります。

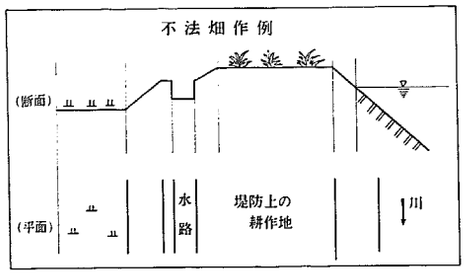
巻土木事務所では、西川沿岸を中心にして、これら不法畑耕作の取り締りを実施する方針のようです。

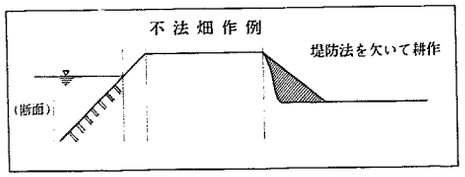
無許可の耕作者を正確に把握することが難しい状況の場合は一方的に復元をすすめることにしております。

大切な川を守るために、いろいろな制限のあることを認識し、みんなの手で、美しい川にしていく努力をしたいものです。

河川敷使用についての問合せは役場建設課に照会ください。







春の火災予防運動 4月1日～7日

今、全国一斉に春季火災予防運動が行われています。新潟県では、季節を考慮し、四月一日から七日までの間、実施されることになっています。

この運動は、空気が乾燥し強風が吹くことが多い春先き、火災に対する警戒を促すため行われるものです。

チョットした不注意がすべてを灰にしてしまう恐しい火災をなくすため家族みんなで注意し合いましょう。特に幼児・老人・身体障害者に対する避難場所などは常に話し合い、確認しておくことも大切なことです。

運動の重点

幼児
老人の焼死防止
身障者

それぞれの持ち場でいかせ火の用心